

雪と暮らす方言……遊び

編集

二年六組

坂野

唯

★
図書館だより
★

九里学園高等学校
図書委員会
印刷(株)川島印刷
TEL 21-5511(代)

○長い間、雪に埋もれなければならない
置賜地方、今回は、た言葉や遊びを郷土資料の本から探して紹介しようといふことになつた。

今、教室の窓からは屋根の雪が校舎におおいかぶさるようになつて見える。今年は大変な大雪である。祖父母から聞くところによると、昔はこのぐらいの雪は度々降っていたということだ。考えてみれば米沢は一年のうち約四ヶ月、気の遠くなれるような年月をすこしと雪だつたのだと、改めて思う。屋根の雪おろし、家の前の雪かたづけ、毎年毎回大変な闘いだったろうなーと思ふ。しかし同時に、雪の中でいろんな工夫を重ねてそれを知恵としてみんな懸命に生き、そして楽しく(?)過ごしてきたのかも知れないとも思う。

そこで今回は、この地に昔から伝わる雪に関する方言や、子供たちの遊びを図書館にある郷土資料の本から探しよ

うになつて見える。今年は大変な大雪である。祖父母から聞くところによると、昔はこのぐらいの雪は度々降っていたということだ。考えてみれば米沢は一年のうち約四ヶ月、気の遠くなれるような年月をすこしと雪だつたのだと、改めて思う。屋根の雪おろし、家の前の雪かたづけ、毎年毎回大変な闘いだったろうなーと思ふ。しかし同時に、雪の中でい

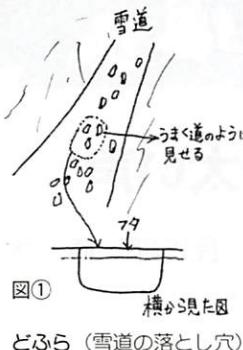
太字で書いてあることをすべて知っている人は、正真正銘すごい雪国人といえそうだ。

●**ぽっこたまる**…ゲタに雪のかたまりがついて、そのまま歩くと、だんだん大きいかまりになることをいう。

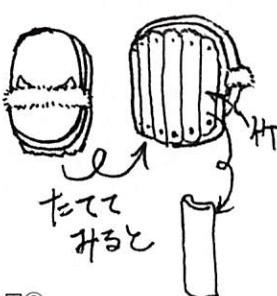
●**ヤハハエロー**…(さいご焼・どんと焼)…一月十五日に行われ、正月に飾った松かざりなどをまとめて焼く行事。子供達が、乾草やワラ、豆幹などを家々から集め、大きな円錐形をつくり、夕方火をつけて焼く。その火でモチなどを焼いて食べる。「ヤハハエロー」は、その時のかけ声。



1/24 生徒昇降口前の歩道



図① 横から見た図
どぶら(雪道の落とし穴)



すべりゲタ

表面が融けだす。しかしまだ、朝方は厳しい寒さのため、雪の表面は凍り、固くなる。そこは子供たちが上つてもぬかることはない。

この時期はきまつた通学路ではなく畑の上、田圃の上を渡つていつもの半分ぐらいいの距離で学校へ向ける楽しみがあつた。

図書館だより

2006. 2. 24

(2)

ズバリ！連覇を目指します

1-8

「すごく楽しいから、皆も覚えた方がいいよ」
クラスマッチが終わった後、選手の一人が言つた
言葉です。私も、もっとたくさんの人々に百人一首の
楽しさを知つてもらえた、と思います。

初めは、優勝なんて夢のまた夢、のような感じで
した。井澤先生直伝の作戦も、なかなか札が覚えら
れず、かなり苦戦しました。十二月は、放課後、ク
ラスのほぼ全員で毎日練習しました。毎日取れる
札が増え、それと同時に「優勝」への期待も高まり
ました。

本番、準決勝の三年五組は、強いと聞いていたの
で一番緊張しました。それでも、怯むことなく戦え
たのでよかったです。全試合を通して、楽しんでや
れたので、それも勝因の一につながっていると思います。
私達一年八組は、初めての百人一首クラスマッチ
にして優勝してしまったので、次は連覇を目指して頑張
っていきたいと思います。

百人一首
クラスマッチ
1/17・18

（鈴木身有規 記）

瞬発力のみで勝つ 三一

練習は何回かしたが、覚え
る努力をしなかつた我チーム
は下の句を聞いてから札を探
しはじめる。下の句を聞けば、
絶対に負けない自信はあつ
た。なにしろエントリーした
選手は、スポーツマンばかり
だから瞬発力が最大のとり得
だつたのだ。

十枚のとき、相手は残り二
枚で、ピンチに陥つた。だが、
そこからが私達の勝負所だつ
た。全力を集中して、取り続
け、とうとうラスト一枚ずつ
になつた。最後、私達が取つ
た。ギリギリでの勝ちに本当に
に感動した。

決勝で対戦した一一八は強
かつた。次回、上の句と下の
句を覚えてから挑みみたいとし
た。ギリギリでの勝ちに本当に
に感動した。

百人一首の結果

優勝	1-8
2位	3-1
3位	3-5
4位	1-7



いきなり野太い声

（米工2年）長谷部 康太

三校合同百人一首

12月10日 於九里学園

今年も、おなじみの三校合
同カルタ大会が九里学園で開
かれた。参加者は、三校合
せて五十名ぐらいだった。自
分は、昨年と同じ読み手を、
先生や先輩から半ば強引にや
らされることとなつた。昨年

は、会場校だった
ので米工からも読
み手をということ
で、九里学園に放
課後三日ほど通つ
て九里的図書委員
と一緒に読みの練
習をしたのを思い
出す。しかし、今
年は、そういう練

習をする時間がなく、ぶつけ本番でうまく読めるか不安
だったので、和気藹々とした会
になり、図書委員同士の交流
もより一層深まつたと感じら
れた。

来年は自分の学校である米
工で、三校合同読書会がひら
かれる。たぶん、その時自分
が委員長をさせられていると
思う。皆さん、あまり僕をい
じめないでね。では、来年度
も沢山の参加を期待していま
す。



図書館だより

(3)

2006.2.24

私は、物凄く本が好きです。しかし、小さい頃は面白くないと勝手に拒否し、国語の教科書だけで充分読み足りるところを遠まわしにしていました。

中学生の頃に図書室でふと見つけた、乙さんの『暗いところで待ち合わせ』という本に出会いました。私にしては珍しく細かい字の本で、意味深の題名と表紙に惹かれて手に取りました。

私のミステリーが好きです。同じ世界で起こっていることは考えられない謎にどっぷり浸り、見え隠れする答えを一緒にになって探す。面白いところはここにあるのではないかと感じようか。読み終った後の満足感、もの足りなさ、ひらくため好きです。

最近では笛生陽子の『きのう、火星に行った』という本がよかつたです。クールな少

チルに自分を置き換える感想たり不思議に思つたり、と私はどんどんその本にのめり込

んでいきました。これが、私が心底本が面白いと思つた瞬間でした。面白い設定とストーリーの展開、読み進めないと分からぬ真実、その中に垣間見える優しさ。そこで衝撃が次の本へと私のいざなつてくれたのです。

年が友情に熱くなつて人間としてのスケールを広げていく話です。私が憧れに近いものを感じました。

夢中になれる本を求めて、死ぬまで本を読んでいきたいと思いま

本 喰い虫の 春明

『暗いところで待ち合わせ』で

一拳に変身

一年七組 荒井 千春

四位 二一三 飯野 太一 62冊
五位 二一四 狩野さとみ 58冊
六位 二一四 鈴木 碧 54冊
七位 二一三 佐藤 貴展 50冊

九位 一一八 鈴木身有規 39冊
十位 二一三 神野 恭平 37冊

2年3組 砂川 尚人

図書館貸出

ベスト10

四月～一月二十三日まで

一位 一一七 荒井 千春 103冊
二位 一一二 高橋 有一 95冊
三位 二一三 砂川 尚人 81冊



主 人 公

どこまでも

前向きで素直 フオレスト・ガンプ



彼の直さや前向きな考え方を読んでいるとともに気分がいい。そんな、人を気分良くさせる生き方を見習いたいと思った。それが僕が好きな主人公、フオレスト・ガンプだ。

卓球の腕を買われ、卓球チームの選手になり中国に行つて試合をし、さらにはNASAの計画の一員として宇宙飛行士になつたりする。後には知り合つた仲間達と共にエビの事業を成功させる。

彼はとても素直な人間だ。が、体格がよく、走りがとても速い事が、らフットボールの選手としてスカウトされ活躍をみせるが、大学での成績が悪く退学となる。その後陸軍に入りベトナム戦争の英雄となり大統領から表彰される。戦争でけがをして実際に病院で覚えた

下、小学校低学年ほどの知識しかない彼、フオレスト・ガンプ。彼の生き方は正に波瀾万丈である。確かに知識は人並以下である彼だが、それでも速い事から、彼はむずかしい事は分からないし、それを判断することも出来ないが、自分の事をいじめたり嫌な事をしない人間に對しては、心から仲間を信じ事ができる。彼のその行動は、はたから見ればただの愚かな行為だったかもしれないが、彼はどんなに酷い事があっても絶望せず、常に前進し続け、その愚かな行為によつて関わつた人々に幸せを与える事ができる。

彼の直さや前向きな考え方を送りたいとは思わないが、彼の素直さや前向きな考え方を読んでいるとともに気分がいい。そんな、人を気分良くさせる生き方を見習いたいと思つた。

図書館だより

2006.2.24

(4)

読書の楽しみ



トイレが読書室になつた

高橋左和明
先生

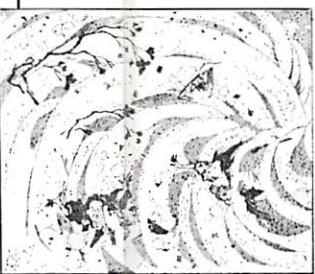
かに読んでいるような生徒
は、今で言う変わり者の
「おたく系」として見られ
ていたような気がしていた

趣味は「読書」と
まではいかないが、

私はちよくちよく本屋にいって
面白い本を物色したりするのを
楽しんでいる一人である。平気
で二、三時間は店内をうろうろ
していることがあり、長くて半
日居たとしてもあまり苦になら
ない人間なのだ。

名著の伝記 <その6>

鈴木牧之著
『北越雪譜』



農夫婦雪吹に死す(さし絵)より

話は幼年期に戻るが、私は男
三人兄弟の一番上で、狭い借家
に家族五人で暮らしていた。厳
格な父からは、テレビを見るこ
とを禁止され楽しみといえば、
漫画面本や、小説にのめりこむこ
とだった。特に赤川次郎の三毛
猫ホームズのシリーズものが好き
で、文庫本を常に力バンの中
に入れていた記憶がある。

しかし、小中学校と体育会系
の私にとっては、当時、小説
などを片手に教室などで一人静
かに読んでいた。

私はちよくちよく本屋にいって
面白い本を物色したりするのを
楽しんでいる一人である。平気
で二、三時間は店内をうろうろ
していることがあり、長くて半
日居たとしてもあまり苦になら
ない人間なのだ。

今年は、大雪のため新聞のコラムにはたびたびこの本が取り上げら
れた。この名著は、雪国に暮らす人々の晴れない思いを切々と書いて
いる。江戸時代末期に書かれたものであるが、二十一世紀の現在にな
つても雪に首根っこを押さえられ、忍従また忍従の暮らしが克服され
たわけではなく、苦闘しなければならないところが共感を呼ぶ。

初雪の章に「雪のほとんど降らないところに暮らす人は、雪を風情
とみて、遊樂し、雪を譽めるが、我地の雪に対する気持ちと比べると
樂と苦、雲泥の違い也」とはじめに書いている。

著者鈴木牧之は、新潟塙沢の人で、縮みの仲買を商売としたが、雪
に埋もれて生きなければならないせつなさを天下の人々に知らせた
いと思い立ち、江戸の戯作者たちを通して何度も出版を画策する。し
かし、特殊なテーマであることと一地方人という差別的な扱いをされ
て出版まで三十多年もかかった。あきらめず雪国の苦しみを知らしめ
ようとした彼の情熱に我々は、同じ痛みを伴いながら深い敬愛の念を
抱かされる。

たこともある。読書はやはり誰
にも邪魔されず、自分の空間を
確保した上で読むのがいいと思
うし、心も癒され集中力も増す。
高校・大学では洋式トイレの普
及で、私にとっては、更なる癒
しの空間になった。最近では、
我が家の中二つあるうちの二つを
占領し、新聞や雑誌類も含め読
書にふけっているときがある。

トイレとは清潔な場所であり、
むのは恥ずかしかった。そこで、
読む場所といえば、狭苦しい部
室や、誰も来ないような階段付
近のちよつとしたスペースにし
やがんで読みふけっていたこと
がある。家では、弟たちがう
さいので、押入れの中に入り懐
中電灯を持ち込んで、読んでい

活動をふりかえつて

三年五組 椎野 友紀

一体感を味わつた九里祭

本当にありがとうございました。

編集後記

初めての編集で、わからないことが
たくさんあり、とても大変でした。ようやく完成させることができました。

原稿を書いて下さった方々本当に
ありがとうございました。雪の特集を
しましたので是非みなさん読んで下
さい。(二年 坂野)

中学の時も図書委員だったということで、私は一年
の始めから図書委員として活動してきました。先輩が
いるうちには、自ら活発に行動しているわけでもなく、
ただ先輩の後をついていくという感じでした。委員長
という大役を任せられた時は、他人に流されやすい自
分が委員会をまとめてやり遂げることができるだろう
かとても不安でした。しかし、自分を成長させられる
良いチャンスだと思い、周りのみんなとともに力を合
わせて多くの活動を成功させることができました。特
に頑張れたと思えたのは、九里祭の展示の「義経わ
んど」を準備するところでした。委員が部活をしてい
る間のブランクを卒業した先輩達に埋めてもらいました。
私は感謝の気持ちと同時に先輩とつくり上げる一
体感を味わいました。そして様々な人々との出会いを
通して、人と関わり合うことの大切さを知ることができ
ました。